

## 平成29年第2回定例会 補正予算（案）の概要

第2回定例会では、北海道の補助制度を活用し、3歳未満第2子以降分の保育料の一部無料化の実施のための補正予算を計上したほか、国の『地方創生推進交付金』を活用した「リノベーションまちづくり交流事業」や小樽協会病院の分娩取扱再開に向けた取組を支援する「周産期医療支援事業費補助金」を計上しました。

会計名	補正予算額
一般会計	7,123万1千円

### 【補正予算の主な内容】

#### ◆ 一般会計

##### [保育料軽減関連予算]

##### 市立保育所費

— (資料②3P)

[市立保育所：[歳入]保育料 702万8千円の減額]

##### 教育・保育給付費負担金

460万2千円 (資料②3P)

(当初) 16億4,100万円→16億4,560万2千円

{	私立保育所：[歳入]保育料 2,481万円の減額
	認定こども園：[歳出]教育・保育給付費負担金 460万2千円の増額 (保育料減収分)

北海道の補助制度を活用し、3歳未満の第2子以降分について保育料の無料化(年収640万円相当未満世帯)を実施(平成29年4月1日適用)

##### [その他の補正予算]

##### リノベーションまちづくり交流事業費

540万円 (資料②1P)

旧寿原邸を活用し、本市における「リノベーション拠点づくり」や移住希望者・起業者などへの空き家マッチングの仕組みづくりを図るため、空き家・空き店舗の利活用と関連させたまちづくりや起業などの公開講座等の開催、空き家所有者の意向調査、お試し移住に向けた旧寿原邸の部分改修の基本設計を実施

##### 町内会館等建設助成金

189万円 (資料②1P)

町内会館の新築や補修等に係る費用の一部を助成

補修：新道会館 【助成率】補修 1/2 (限度額500万円)

<b>クレジット納付導入経費</b>	<b>260万円</b> (資料②2P)
税及び保険料の平成30年度からのクレジット納付導入に係るシステム改修及び周知活動経費	
<b>総合福祉センター施設維持補修費</b>	<b>600万円</b> (資料②2P)
浴室用ストレージタンク(貯湯槽)の老朽化に伴う取替工事	
<b>障害児保育対策事業費補助金</b>	<b>354万円</b> (資料②2P)
(当初)1,947万円→2,301万円 保育士加配の増(11人→13人)に伴う補助額の増	
<b>公会堂屋根改修事業費</b>	<b>850万円</b> (資料②3P)
雪害によって損傷した雪止めの復旧及び瓦屋根の改修	
<b>周産期医療支援事業費補助金</b>	<b>560万円</b> (資料②3P)
小樽協会病院の分娩取扱再開に向け、婦人科外来診察及び妊婦健診(助産師外来)の実施に対する助成	
<b>(仮称)小樽市中小企業振興基本条例制定関係経費</b>	<b>30万円</b> (資料②4P)
条例制定に向けた検討委員会の設置及び運営に係る経費	
<b>ボイラー室改修事業費</b>	<b>△4,780万円</b> (資料②5P)
朝里小(当初)2,580万円→0万円 朝里中(当初)2,200万円→0万円 検査の結果、アスベスト不検出のため不用となった事業費を減額	
<b>自動車展示施設整備事業費</b>	<b>850万円</b> (資料②5P)
石原裕次郎記念館からの自動車の寄贈に伴う収蔵展示施設の整備	
<b>(その他)</b>	
<b>[歳入] 財政調整基金繰入金</b>	<b>5,248万8千円</b> (資料②5P)
<b>[積立金] 寄附に伴う積立金</b>	<b>2,389万9千円</b> (資料②1,2,4,5P)
ふるさと応援基金積立金ほか4件	

上記のほか、  
一般会計では、事業費の財源振替などを予算計上しています。